

ありがとうございました！

「うきはブランド推進隊」退任のあいさつ



地域外の人材を誘致し地域力を高める「地域おこし協力隊」の制度により平成29年4月から市内に移住された文化財保存活用プランナーの竹熊さん、うきはレインボーファーム推進プランナーの久我さん、地域産業資源活用プランナーの平田さん、山村振興プランナーの錦織さんの4名はそれぞれのミッションに取組まれ、市のブランド推進に尽力していただきました。皆さまの今後ますますの御活躍を期待しています。

「うきはの歴史は面白い！」と感じ続けた三年間でした。任期中は、うきはならではの歴史や文化に焦点を当て、講座や体験教室、展示などの各種企画を行ってきました。うきはは本当に温かい方ばかりで、どんなときもみなさんのお人柄に救われました。本当にありがとうございました。自分にできる小さなことからやってきましたが、もっとできることがあったのではと反省もあります。地元でない私が、地域の成り立ちを扱うのはおこがましいと感じるときもありましたが、これまで残ってきた・残されてきた「うきはのたからもの」たちを本当に尊いと感じているので、未来へ受け継いでいけるよう今後も活動を続けていきます。三年間ありがとうございました。

竹熊 若葉さん



久我 将己さん

うきはレインボーファーム推進プランナーとして、うきは市で中山間の耕作放棄地対策やトマトハウスでの管理・栽培作業等、農業関係のミッションに携わらせてもらいました。中山間の耕作放棄地対策では、柿の木の伐根や雑草の刈払をし、整地をするところから始めました。これだけでもかなり大変な作業で、農業の大変さを思い知りました。うきはレインボーファームの方や、うきは市で長く農業を営んでいる方から、やり方を教えてもらったり、時には手を貸してもらったりして、作業を進めることができました。着任当初はうきは市に馴染めるか不安でしたが、皆さんに暖かく接してもらえたことで、うきは市を好きになることができました。退任後は、うきは市でトマト農家として就農します。三年間本当にありがとうございました。



長く暮らした東京を離れ、地域おこし協力隊着任をきっかけに移り住んだうきは市。縁もゆかりもなく、知り合いもいなかった3年前が信じられない程、今ではかけがえのない大切な場所になりました。毎朝表情を変える耳納連山や四季折々の景色に癒され、天然水で暮らせる日常、旬を味わえる豊かな食材など、心底幸せだなと感じる毎日でした。

そして、うきはの皆さんが温かく接して下さったことが何より嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。特に商工振興係の仕事を通し、市内事業者の皆さんには大変お世話になりました。右の写真もイベントで一緒した際の思い出の一枚です。多くの方々に支えていただき、本当にありがとうございました。これからもうきははでのご縁を大切にしながら、引き続きよろしく願いいたします。

平田 順子さん



錦織 大悟さん

地域おこし協力隊としてうきは市にやって来てからの3年間、その間、たくさんのご縁・繋がりをいただき、本当にたくさんの方にお世話になり、そしてご迷惑もたくさんかけました。なんだか得体の知れない移住者に対して、うきは市の方々は本当に良くしてくれたなあという想いでいっぱいです。

退任後は、うきは市内の企業に就職することとなり、また、個人事業として妻と一緒にうきはで「森のようちえん」を立ち上げる予定です。うきはで「森のようちえん」をしようと思うに至ったのも「うきは」という土地の魅力に触れ、人の温かさに触れ、ここに根差して生活をしていきたいと、夫婦共々感じたからだと思います。これからはうきは市民として、新しい仕事・新しい事業に挑戦していきたいと思っています。

